

校外学習や他校との連携を活用し、学びを深める。

校外学習を 活用

東京都小平市立小平第三小学校 5年生

校外学習をいかし、学校独自のアレンジで、授業を展開。



アイデアポスターを校内掲示し、全校に取組を紹介。



大阪・関西万博とSDGsの関わりを学ぶ。



一人一台端末を使って情報を整理・収集。

ねらい

SDGsの目標達成のために、実社会でどのようなことに取り組んでいるのか、校外学習を通して、自分で調べたり質問したりして学びを深め、自分にできることを考える。

取組概要

- 授業1で万博について学んだあと、授業3を使ってSDGsに触れ、17の目標の中で、自分たちにとって最も大切だと思う目標を選び、グループを作成。
- 校外学習で、エコプロ(一般社団法人サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社主催)を見学して、企業の取組や、多くの人に広めるためのアイデアや工夫を学び、アイデアポスターを作成。

ここがポイント!

- 教材の中から、自校の取組と合致する内容を抜粋し、アレンジして活用。
- ポスターに入れる情報や写真の精査、短い文章で伝える工夫など、校外学習で学んだ工夫をいかして、アイデアポスターを作成。

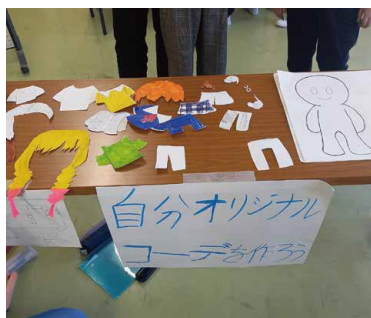
地域・他学年 と連携

大阪府大東市立四条小学校 5年生

発表の機会を複数回設定し、自分の考えと伝える工夫をブラッシュアップ!



2校合同校内EXPOで“伝える”を体験。



着せ替えを使ってジェンダーを紹介。



ニュース番組仕立てでわかりやすく訴求。



ゲームを通して取組アイデアを説明。

ねらい

発表の機会を複数回設定し、自分の考えを整理してまとめ、伝える工夫を考える機会を多くもつことで、SDGsや目標達成のためにできることについて、自分事として捉える。

取組概要

- 2学期に、中学校区が同じ近隣の小学校と合同で、校内EXPOを合同開催。「みんなが気持ちよく、いっしょに生活できる地域にするために私たちができることを考えよう!」をテーマに、グループごとに考えたアイデアを他校グループに向けて発表。
- 3学期には、5年生が学んだSDGsについて3年生に伝える「四条EXPO」を開催。寸劇やカルタ、ゲーム、着せ替え人形、テレビ番組制作など中学年にも理解しやすいよう工夫して発表。

ここがポイント!

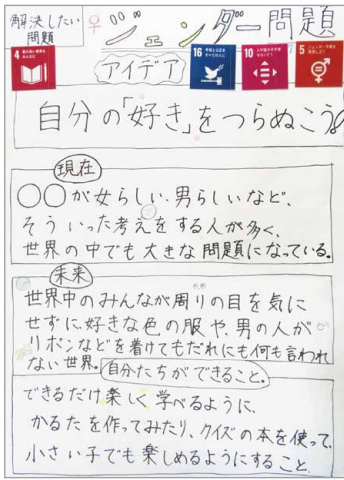
- 1度目の発表でうまく伝わらなかったこと、他校の発表を見聞きして気づいた発表の工夫などをもとに、2回目発表での発表内容や伝えるための工夫を検討。
- 自分たちの知識や思いを単に伝えるだけでなく、行動につながってもらうために、どんな方法で、どんな言葉で伝えるのがよいか考えることを通して、問題をより身近に、具体的に捉えることができた。また、スタンプラリー形式で、3年生が17のテーマを楽しみながら、学ぶことができるよう工夫。

校外学習や他校との連携を活用し、学びを深める。

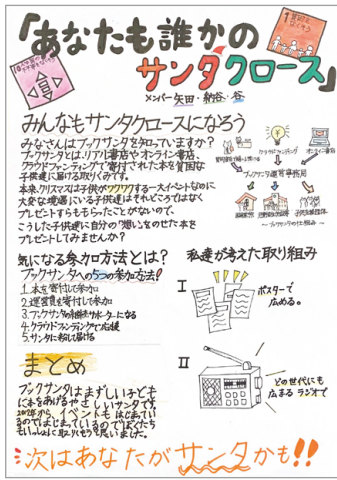
一人一台
端末活用

和歌山県和歌山市立楠見東小学校 6年生 ※和歌山市立今福小学校6年生との協働実施

“すべての”いのち輝くために何ができるのか、 児童主体で考え・行動を起こす。



楠見東小学校中間発表



今福小学校中間発表

ねらい

“すべての”いのち輝く社会の実現に向けて、全ての児童が課題を自分事としてとらえ、自分にできることを考えて実際の行動や活動につなげる。

取組概要

- SDGsへの興味喚起を目的として、授業3実施時期に、図工でSDGsをテーマに一人一台端末も活用し、アニメーション動画を作成。世界の現状や、必要な取組・自分にできることをイラストとストーリーで表現することを通して、より具体的に現状が理解できるように工夫。
- グループごとに自分にできることをポスターにまとめてから、近隣の小学校と合同で、授業6リサーチ報告会(中間発表)を開催。3学期には、クラスで活動方法を話し合い、成果物を使って、他学年を対象に呼びかける活動を実施。
- 3学期には、クラスで活動方法を話し合い、成果物を使って、他学年を対象に呼びかける活動を実施。

ここがポイント!

- 各グループの活動の活動内容や伝えたいことが決定した段階で、同テーマで学習に取り組む和歌山今福小学校とオンラインでの中間発表を開催。
- 互いの良いところや改善点を具体的に伝え合うことができるよう、質疑応答の時間を十分に確保し、活動内容や成果物のブラッシュアップにつなげた。

海外地域との
共創

埼玉県埼玉大学教育学部附属小学校 5年生

海外の学校との交流で世界の実情や多様な価値観を体感。



ねらい

SDGs達成のための課題や、自分にできることを広い視野でとらえ、世界の実情や多様な価値観を実感しながら自分にできることを考える。

取組概要

- 授業2をきっかけに、世界で取り残されている人たちがいることを確認し、子ども達と何ができるかを話し合いを開始。
- ICTを活用し、もともと交流のあった台湾の学校と「水を通してよりよい未来を」について、共同編集できるツールなどを使って意見交換を行った。その成果を踏まえ1つの横断幕を共創。児童一人一人がよりよい未来のためにできることを記入した。

ここがポイント!

- 東大阪市で開催されたHANAZONO EXPO2023の内容とジュニアEXPO2025の内容と合わせ、児童と一緒にSDGs学習カリキュラムをつくりあげていく学習計画を立案。
- 台湾の学校とは、インターネットクラウド上で情報や意見の交換を行う活動を繰り返し、横断幕の作成につなげた。(横断幕のみ実物をやり取り)

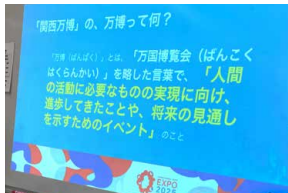
(参考)HANAZONO EXPO2023 <https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/440>

校外学習や他校との連携を活用し、学びを深める。

SDGsへの 興味喚起

アメリカ合衆国西大和学園補習校 パロスバーデス校 小学校4年生～6年生

海外・日本とさまざまな背景をもつ児童が万博に興味をもち、SDGsの考え方を学ぶことで、地域課題に目を向ける。



ねらい

- 万博への興味関心を持たせ、海外からも参加する一員としての意識を持たせる。
- 自分たちの地域の身近な問題とSDGsとの関わりに気づき、気付いたことや自分にできることをポスター制作を通じて自分なりの方法で表現する。

取組概要

- 短縮版の教材を活用し、3時間で実施。授業1では、2025年大阪・関西万博の公式サイトも確認しながら、最新の情報や、取組についても確認。
- 授業2でSDGsの考え方について学ぶ際には、現地校でも紹介できるように地域課題や日頃の取り組みとも関連付けながら授業を進めた。

ここがポイント!

- 「補習校」では授業時間が限られることや、日本語の習得状況が児童により異なることから、SDGsの課題に関する情報や資料はあらかじめ学校で準備し、提示。課題に関する情報収集には時間をかけず、意見を交換したり、自分の考えを表現したりすることに時間がかけられるよう配慮した。